令和８年度 都市景観大賞

「都市空間部門」

応 募 要 領

5. 表彰地区数中の賞名を変更しています。変更・追加部分は、赤字としています。

主　催：「都市景観の日」実行委員会
後　援：国土交通省
事務局：公益財団法人 都市づくりパブリックデザインセンター
〒112-0013　東京都文京区音羽 2-2-2　アベニュー音羽 206
TEL　03-6912-0799
HP　https://www.udc.or.jp　E-mail　toshikeikan@udc.or.jp

目　次

1. 目的……1

2. 対象地区の要件……1

3. 応募時期……2

4. 応募者の資格……2

5. 表彰地区数……2

6. 審査及び表彰（予定）……2

7. 審査委員……3

8. 応募説明会開催並びに応募方法及び応募先（応募図書提出先）……4

9. 提出図書及び提出に当たっての留意事項……5

10. 過年度受賞地区との関係……6

11. その他……6

12. お問い合わせ先……6

添付資料

様式 1～6 記入要領……7

1. 目的

都市の景観は国民共有の誇りうる財産として、美しく風格のあるものであり、また、地域固有の歴史や風土が尊重され、そこで生活し活動する人々にとって、親しみと敬意の対象とならなければなりません。

「都市景観の日」実行委員会は、良好な都市景観を育むため、互いに協力しあい、工夫をこらした意欲的な実践に、ともに取り組むことを広く呼びかけ、その一環として1991年より都市景観大賞を実施しています。

都市景観大賞は良好な都市景観を生み出す優れた事例を選定し、その実現に貢献した関係者を顕彰し、広く一般に公開することにより、より良い都市景観の形成を目指すものです。

2. 対象地区の要件

本賞は、街路・公園・水辺・緑地等のパブリックスペースと建物等が一体となって良質で優れた都市景観が形成され、それを市民が十分に活用することによって、地域の活性化が図られている地区を対象とします。

単独の「公共施設・民間建築物（付属公開空地等を含む場合も同じ）・構造物（付属公開空地等を含む場合も同じ）」は審査対象になりません。

※パブリックスペース：街路、広場、公園・緑地、駅舎・駅前広場、河川・水路、湖沼、海岸等の不特定多数の人が自由に出入りできる空間

※地区の規模、実施した施策・事業の種類や主体等は限定しません。

※空間の十分な活用とは、持続性をもって適切に維持・管理がなされているとともに、多くの市民がその場に親しみ、日常的によく利用していること。

注）ここ数年、「単独の公共施設」や「単独の民間建築物」あるいは「単独の民間建築物とその付属公開空地」を対象地区として応募を頂いた例がありますが、これらは、上記の地区要件を満たしませんのでご留意願います。なお、詳細は、事務局にお問合せください。

対象地区の要件は上記の通りで、これ以上限定するものはありませんが、今後の取り組みの参考のために例示すれば、例えば以下のようなものが挙げられます。

対象地区の例示

〇優れた都市景観を備え、都市のシンボルともなる賑わい地区

駅前・メインストリート・中心商店街・商業施設・文化施設等を中心とする地区で、公共空間のデザインや節度ある広告･看板･照明デザイン等で良好な景観を形成し、いつも人が集まって賑わいを形成している地区等。

〇優れた都市景観を備え、コミュニティの中で日常的に居心地の良い地区

家並みの統一や緑・水等のうるおいにより、季節の変化や自らの暮らしを楽しめて、そこに居るだけで心地よさを感じる地区。市民の居場所空間。路地等を中心とするコミュニティ空間等。

〇歴史・伝統文化の香り漂う地区

歴史的風致・自然条件・地場産材等を活かした空間や歴史的まちなみや文化的景観。古い民家やまちなみを活かした新しい生活様式を創生し、日常生活の中で洗練された生活文化（美学）が息づいている地区等。

3. 応募時期

応募時期は、対象地区の都市景観が概ね構成され、訴求する（期待される）価値が明確となった時点とします。

4. 応募者の資格

良質で優れた都市景観の実現に深く寄与した地方公共団体、まちづくり組織、市民団体、民間企業・コンサルタント、独立行政法人、公社等とします。

※多くの関係者による共同応募が望ましいです。

※応募者に地方公共団体が含まれない場合には、地方公共団体の確認を得たうえで応募してください。その際、行政機関による確認書（別紙様式 6）を添付してください。

5. 表彰地区数

① 大賞（国土交通大臣賞）　・・・・・・１地区

②「都市景観の日」実行委員会長賞　・・・・・・数地区

③（公益財団法人）都市づくりパブリックデザインセンター理事長賞・・・・数地区

④奨励賞　・・・・・・数地区

6. 審査及び表彰（予定）

「都市景観の日」実行委員会内に設置される都市景観大賞審査委員会において、応募図書等をもとに、内容を審査（書類選考、現地視察・ヒアリング※）した上で、表彰地区を選定します。

国土交通省大臣賞の表彰については、10月に東京で実施する予定です。

※審査委員による現地視察・ヒアリングは、書類選考（第１次審査）で選定した地区についてのみ実施します。

■審査に当たっての評価ポイント

○　景観形成や空間活用の新規性、独創性、模範性を評価します。

○　景観形成過程における課題解決の難易度・工夫を評価します。

○　景観形成・維持管理・活用面における市民参加（市民の関わり度）を評価します。

○　長期間にわたる活発な取り組み、多種多様な取り組みを評価します。

○　豊かな空間を将来にわたって維持管理するエリアマネジメント等の取り組みを評価します。

○　景観形成と空間活用の効果を評価します。

・地域アイデンティティの高まり。市民が誇りを感じている。地元愛着意識の高まり。定住志向の高まり等。

・賑わいの増加（歩行者交通量等の増加）、交流人口の増加。

・景観に対する高い意識を持って質の高い生活が営まれている。生活文化創造・再生システムが確立している。

7. 審査委員

委員長	岸井　隆幸	（公財）都市づくりパブリックデザインセンター理事長、 （一財）計量計画研究所代表理事
委　員	池邊このみ	千葉大学 グランドフェロー
	卯月　盛夫	早稲田大学 名誉教授
	小林　博人	慶應義塾大学 教授
	佐々木　葉	早稲田大学 教授
	高見　公雄	法政大学 教授
	田中　一雄	株式会社 GK デザイン機構代表取締役
	富田　泰行	トミタ・ライティングデザイン・オフィス代表取締役
	国土交通省	都市局　公園緑地・景観課長
	国土交通省	都市局　市街地整備課長
	国土交通省	住宅局　市街地建築課長

（順不同、敬称略：令和 7 年 10 月現在）

8. 応募説明会開催並びに応募方法及び応募先（応募図書提出先）

「エントリーフォーム」からのご応募、および「提出図書等」（次項「9. 提出図書**及び提出に当たっての留意事項**等」を参照）の2種類のご提出をもって応募完了となります。

なお、都市景観大賞**「都市空間部門」についての**応募説明会（本「応募要領」の概要説明及びその後に質疑を実施）をオンラインで実施いたします。

・R8 年 1 月 20 日（火）13:30～14:30

・R8 年 2 月 5 日（木）13:30～14:30

申込み・アクセス方法は、udcHP に記載いたします。

※応募説明会へご参加いただかなくとも、都市景観大賞へのエントリー・応募は可能です。

※第一回、第二回とも、説明内容は（エントリー手続きの説明を除き）同一となります。

■エントリーについて　応募に先立ち、必ずご提出ください（必須）。

提　出　方　法：事務局ホームページ内「エントリーフォーム」にご入力の上、送信ください。URL：https://www.udc.or.jp/publics/index/456/

エントリー期間：2025年11月20日（木）～2026年2月4日（水）

（※）「エントリーフォーム」からご応募いただいた情報は、応募内容の確認のために使用し、それ以外の目的には使用いたしません。
エントリー後に応募を取りやめる事は可能です。

■提出図書について

応募しようとする方は、次項「9. 提出図書及び提出に当たっての留意事項」に記載する図書を、下記提出先までご送付ください。
ファイルサイズが大容量になる場合、事務局が指定するクラウドフォルダへ直接アップロードしてください。エントリー時の代表者連絡用メールアドレスに、クラウドフォルダへのアクセス方法を記載したメールを送付いたします。

応　募　期　間：2025 年 11 月 20 日（木）~2026 年 3 月 5 日（木）

提　出　方　法：メール添付または事務局指定のクラウドフォルダにアップロード

提出先メール：toshikeikan@udc.or.jp

9. 提出図書及び提出に当たっての留意事項

応募にあたっては、以下の図書のデータを提出してください。

提出図書①（応募申請書一式）：Word または PDF

様式 1：応募申請書・応募担当者連絡先

様式 2：地区概要及び取組みに関する調書

様式 3：写真説明書

様式 4：要点説明書

様式 5：位置図・区域図

様式 6：応募者に地方公共団体が含まれない場合には、別紙様式 6 による行政（景観担当部局長）の確認書を添付してください。確認者の認め印が押印されたものの複写（スキャンしたもの）で構いません。

※様式 1～様式 6 は、事務局ホームページ内「都市景観大賞」のページに掲載しています。ダウンロードの上、ご記入いただき、ご提出ください。

※様式ごとにデータを分けず、ひとつのデータのままご提出ください。

提出図書②：写真の JPEG データ（1600px×1200px・350dpi 程度以上）

様式 3 で使用した各写真のデータを一つのフォルダにまとめ、提出してください。

提出図書③：A4 版 20 枚程度、PDF

補足資料：パンフレット等、必要と判断されるものを厳選してください。

■提出に当たっての留意事項

○ 提出図書①の提出データは、Word または PDF いずれでも構いません。

○ 提出図書②写真のデータは、入賞された場合、地区や活動を紹介するパンフレットとして、またパネル展示用に引き延ばして利用します。

様式 3 に貼り付けたものとは別途、高解像度（1600px×1200px・350dpi 程度以上）の jpeg データを 1 枚ずつ用意してください。

ファイル名は、地区名と番号（様式 3 で用いた番号と一致するもの）で、下記表示例のようにしてください。

ファイル名の表示例：△△地区 01.jpg、△△地区 02.jpg、…

※地区名が長い場合は略称でも構いません。

※番号は半角数字で 01、02、03、…12 としてください。

○　様式 3 の写真は、地区や活動を紹介するパンフレット等への掲載時に、クレジットの明記が必須となるものは使用しないでください。

○　提出図書③補足資料の提出は必須ではありません。必要に応じて、対象地区の案内や、地区の事業・活動等を紹介したパンフレット等の資料を、補足資料としてつけてください。提出される場合は、応募地区の取組み内容・成果等について理解を深めるために必要と判断されるものを厳選してください。

※必ず A4 版で、20 枚程度に納めてください。

※パンフレット等の印刷物の場合は、スキャンし、PDF に変換したものを提出してください。原本の提出は受け付けていません。

○　対象地区の整備効果が一目で分かるような、現在の姿と整備前の姿を対比できるような写真等があれば、補足資料としてつけてください。

10. 過年度受賞地区との関係

・過年度に都市景観大賞（都市景観100選、景観形成事例部門、美しいまちなみ賞）に応募した地区（受賞地区を含む）についても、その後、まちづくり組織等によるまちなみの維持・保全等の活動が行われている場合は、応募対象となります。
・ただし、平成13～22年度において「美しいまちなみ大賞」（国土交通大臣賞）を受賞した地区については、受賞対象外となります。
・また都市景観100選に選ばれた地区については、受賞当時の内容に比較してなお一層の充実が図られていることが審査のポイントになりますので、その後向上した点について以下のような視点から具体的に明示してください。

① まちなみの美しさが加わり、より魅力的になった。
② まちなみの美しさを増進、維持するために住民や団体等の活動がより活発になった。
③ 様々な活動の結果、住民の日常生活がより充実し、魅力的な生活文化が展開されるようになった。

11. その他

・受賞の有無に拘らず、全応募地区に対して、審査結果を実行委員会より連絡します。
・「都市景観の日」実行委員会及び公益財団法人都市づくりパブリックデザインセンターは、応募事例を第三者に紹介（有料もしくは無料）するにあたり、図書の出版その他の媒体に応募図書を無償で使用する権利を有します。

12. お問い合わせ先

応募に際してご不明な点等があれば下記事務局までご連絡、ご相談ください。

公益財団法人 都市づくりパブリックデザインセンター内
「都市景観の日」実行委員会事務局　都市景観大賞担当　古木・吉野
TEL　03-6912-0799　HP https://www.udc.or.jp　　E-mail toshikeikan@udc.or.jp

様式1～6記入要領

1. 都市景観大賞「都市空間部門」応募申請書（ 様式 1-1 ）

1） 応募者名（団体名）

・応募者（団体）全てについて、組織名を記入してください。

2） 地区名

・地区名は、当該応募地区を最もよくあらわす名称としてください。

3） 地区所在地

・応募地区の所在地（都道府県名及び市区町村名まで）を記入してください。

2. 応募担当者連絡先（ 様式 1-2 ）

1） 担当者氏名

・実際に応募の事務を執る方の氏名を記入してください。

2） 担当者連絡先

・担当者の住所、電話番号、メールアドレスを記入してください。

※応募の事務を執る方のうち、電話・メール等による連絡が常時可能な方で、事務局及び応募者の方々との連絡・調整役に相応しい方を担当者代表としてご登録ください。

3. 地区概要調書（ 様式 2-1 ）

1） 地区の概要

① 地区の名称

様式 1-1 に記載された地区名と同じものを記入してください。

② 地区の範囲

応募地区の所在地を丁目まで記入してください。

③ 地区の面積・構成内容

・応募地区の概ねのヘクタール数を記入してください。
（小数点 1 桁まで。それが不可能な場合は整数表示でも可。）
・構成内容として、応募対象となるパブリックスペースとそれと一体となる建物等を記載してください。
（例）・街路及びその周辺の建物等の街並み
・広場及びその周辺空間、建築物及びその周辺の公共空間　等
なお、単独の「公共施設・民間建築物（付属公開空地等を含む場合も同じ）・構造物（付属公開空地等を含む場合も同じ）」は審査対象になりません。ご留意下さい。

2） 応募者の概要

・応募者各々について、①組織の名称、②地区の景観形成・保全において担った役割・活動の内容を簡潔に記入してください。
・応募者がまちづくり組織の場合には、①組織の名称、②組織の構成メンバー、③組織の設立時期、設立の目的・主旨、また過去・現在で地区の景観形成・保全において担った役割・活動（業務）の内容を簡潔に記入してください。

4. 景観形成・保全の取組みに関する調書（ 様式 2-2 ）

1） 地区の概況と課題

地区の位置や状況等地区の概況や課題について、簡潔に記入してください。

2） 地区における都市景観の形成・保全に関する取組みの経緯

地区の都市景観の形成・保全のために、これまでに行政や民間でどのような取組み（ハード面、ソフト面）がなされてきたのかを、できるだけ詳細に時系列的に記述してください。取組みの主体（事業の実施主体、ルール策定者、イベント主催者等）が誰であったのか、明確に記述してください。
なお、景観法に基づく制度活用又はその予定がありましたら積極的に記述してください。

3） 地区の都市景観上のポイント

記入にあたっては、地区の都市景観上のポイントをアピールするように記入してください。
また、以下の点がわかるように簡潔に記載してください。

（・どのような点で、良好な都市景観の形成、保全となっているか
（当地区の都市景観形成・保全のポイント）
・当地区の景観形成・保全における、新規性（オリジナリティ、新しさ）、工夫した点、苦労した点は何か
・どのような点で、公共空間と民有空間とが一体となった都市空間となっているか
・どのような点で、市民による積極的な活用がなされているか
・どのような点で、地域の活性化等に貢献しているか、等。）

また、文中には関連する写真番号（様式 3）を記入して、景観上のポイントと写真との関係がわかるようにしてください。
なお、景観法に基づく制度活用がありましたら積極的に記述してください。

4） 景観形成・保全の取組みの成果

景観形成・保全取組みの成果について記入してください。その際、直接的な成果物だけでなく、住民等の意識にどういう効果があったか、成果が地域社会にどのような波及効果を与えたか、等がわかるように記載してください。

5） 今後の展開

今後の活動計画や新たな取組みへの展開等、現在計画しているもの、想定しているものを記入してください。

5. 写真説明書（ 様式３ ）

・写真説明書には、各々の写真の下に番号と各写真の簡潔な説明文（20～30 字程度）を付けてください。撮影時期（年月）がわかる場合には、記載ください。
・写真の選定に当たっては、次の点に留意してください。
ア（必須）番号 1～4 に貼り込む写真は大きなサイズに相応しいもの（地区の代表的景観等）をお選びください。うち番号 1 の写真（一枚目）は、地区の全景が分かるようなものにしてください。
イ（必須）対象となる都市空間が住民や来街者等にどのように活用・管理されているか、その様子が分かるようなものにしてください。
ウ（随意）四季の写真（いずれの季節でも可）があれば入れてください。
エ（随意）照明デザインや夜景の写真があれば入れてください。
オ（随意）サイン設備等の設置状況が分かるようなヒューマンスケールの写真を盛り込んでください。
※写真枚数の制限はありません。必要に応じて頁を追加してください。
※活動を紹介するパンフレット等への掲載時に、クレジットの明記が必須となる写真は使用しないでください。

6. 要点説明書（ 様式４ ）

「①地区の概要」と「②アピールする点」について、簡潔にまとめてください。
また、受賞した際に、その地区の取組みの内容を発表するために用いますので、「①地区の概要」については、地区の概況、課題、取組み内容等、アピールする点を 500 字以内で簡潔に記入してください。

7. 位置図（ 様式５ ）A4 版・・・おおよそ縮尺 1:10,000～1:50,000 程度

・市町村管内図等を用いて、当該地区の位置を明示するとともに、地区周辺の主要な施設等（駅、主要幹線道路、河川、山等）を示してください。
なお、位置図の大きさは適宜縮小し、A4 判にて提出してください。
・方位、縮尺（スケールバー等）を付してください。

8. 区域図（ 様式５ ）A4 判・・・おおよそ縮尺 1:2,500～1:10,000 程度

・区域内及び周辺の建築物の形態等がわかる図面をもとに、応募地区の区域を線（赤色）で縁どりして示すとともに、地区内の主要な公共施設（道路、公園等）や建築物等（歴史的建造物、公益施設等）の位置、名前を適宜示してください。なお、区域図の大きさは適宜縮小し、A4 判にて提出してください。
・応募地区外の駅や主要な幹線道路等周辺地域の主要な公共公益施設等についても適宜、明示してください。
・方位及び縮尺（スケールバー等）を付してください。

9. 応募申請確認書（ 様式６ ）

・本様式は、応募者に地方公共団体が含まれない場合にのみ提出してください。
・応募にあたっての支障がないこと（関係法令に違反していないこと等）を確認してもらうものです。
・確認は、応募地区が所在する市区町村の景観担当部局長に依頼してください。
・様式 1-1 と同様に、応募者全員の名前を記載してください。応募者記入欄が足りない場合は、適宜追加してください。

※なお、応募図書に記載された地名･固有名詞にはふりがなを付けてください。